

相国寺御用達

京名菓 雲龍

雲龍は、俵屋吉富の七代目店主が相国寺所蔵の「雲龍図」(狩野洞春筆)に感銘を受け、うねる雲間を飛翔する力強い龍の姿を表

現し創作した一世の名菓です。

大粒の丹波大納言小豆をはじめ、吟味を重ねた最高級の素材を用い、現在も変わらず、熟練された職人の手で、一本一本丁寧に

お作りいたしております。

大切な方への心を込めた贈り物に、
京名菓 雲龍をどうぞ...



京名菓 俵屋吉富

本店

京都市上京区室町通上立売上ル
電話 075-432-2211

烏丸店

京都市上京区烏丸通上立売上ル
電話 075-432-3101

圓明

令和七年 正月号(第二三三号)



大森山相国寺
相国会本部

相国寺「大弁財尊天社」

京都府指定有形文化財

相国寺法堂の南東側にある「弁財尊天社」は、元は京都御所内の久遊宮邸守護神として延宝四年（一六七六）に建立され、明治十八年（一八八五）に寄進を受け境内に移築されたものである。本殿、拜殿、絵馬堂などからなり、弁財天の使いである蛇の絵馬が奉納されており、巳年の本年も境内を守護している。

撮影◎柴田明蘭



まるにくん
© 2025相国寺

歳旦祝語

管長 大龍窟有馬頼底

令和七年乙巳

歳旦

九十年來留洛北

平常淡飯又粗茶

若有人諮吾這裏

一枝纔馥老梅花

相国 大龍叟

九十年來、洛北に留まる

平常は淡飯、又た粗茶

若し人有って、吾が這裏を諮わば

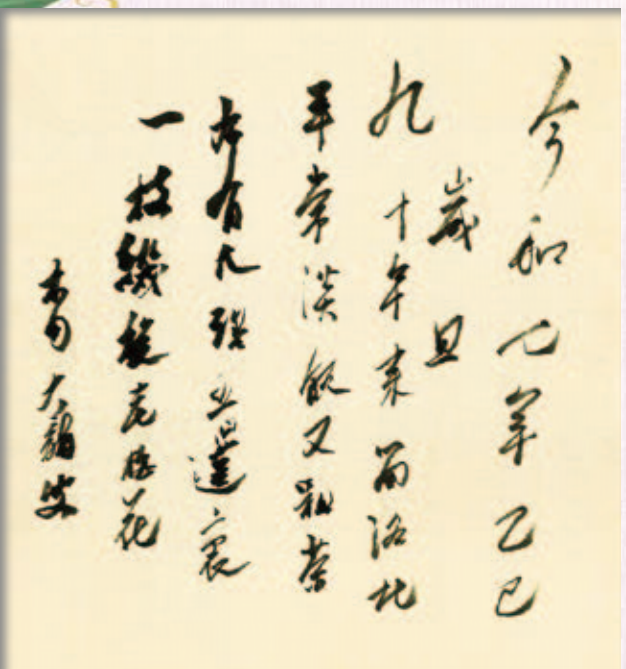
一枝纔かに馥る、老梅花

九十年このかた、洛北に住んで

常は、粗食と粗茶である

もし、人が私の様子を尋ねたら

一枝にわずかに香る、老梅花である



承天閣美術館開館40周年記念 「相国寺展 金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史」

2024年10月11日～11月27日 愛知県美術館で開催される 38ページを参照



主催者をはじめ関係者や報道機関が列席した



法要後の記者発表で挨拶する佐分総長ほか



観覧する佐分総長と高橋範子学芸統括



内覧会を前に行われた法要



内覧会の様子

※写真は今月10日

「冬の京菓子」

京菓子司 俵屋吉富 店主 石原義清

街にクリスマスケーキが並ぶのを見かけるようになり、色鮮やかな洋菓子に対して餡の茶色や餅の白色が主の和菓子が鳴りを潜める気もしますが、色や菓銘のつく京菓子はそういう洋菓子にあやかっ

てクリスマスに因んだお菓子を作ってみました。昔からあるお菓子はシンプルなものも多く、世界的にみてもパイやクッキーやフィナンシェやバスクケーキなどなど特に鮮やかさはありませんが変わらぬ人気ぶりです。俵屋吉富も雲龍が長くご愛好頂いているのはそういうお菓子のお仲間入りにさせて頂

けているのではないかと思います。

令和七年は大阪での万博や旭川での菓子博



サンタクロース



雪だるま

開催があり、アーテイスト力が求められているように感じています。職人も腕の見せどころです。

今回ご紹介するお菓子はサンタクロースと雪だるま、そして通し矢です。通し矢は京都三十三間堂で行われる新成人たちが和服姿で行う弓の引き始めのことで、一生に一度しか参加できない行事です。その的をお菓子にしてみました。

迎春のお菓子もいいですがこういう行事をお菓子にできるのも楽しい機会です。さて令和七年はどのようなお菓子が創作できて皆様にお届けできるのか。いずれにしてもお菓子で幸せな時間となりますようお願いして新春を迎えたいと思います。



通し矢

相国寺を彩る樹木

《第六回》

「馬酔木」

植昭 長岡造園 長岡 秀晃

今回は「馬酔木」を紹介합니다。一見見慣れない漢字かと思ひますが「あせび」や「あしび」と読み、春先に白やピンクのかわいらしい花をたくさん咲かせる樹木です。

相国寺のあせびは裏方丈庭園や書院庭園、承天閣美術館など各所で見ることが出来ます。中でも裏方丈には数多く植えられており、書院と方丈を仕切る程よい目隠しの役割も果たしています。かわいらしい花からは想像できませんが、実は毒のある樹木です。あせびの葉を食べた馬が毒に当たって、酒に酔ったようにふらふらしたことから「馬酔木」という名前が付いたという説もあります。

耐寒性や耐乾性・耐病虫害にも優れ、さらには成長が遅めで樹形が乱れにくく手入れがしやすいため庭木として大変優れています。寺院だけでなく、一般のお庭にも和洋問わずよく似合いますので庭師おすすめの樹種です。

春に咲くきれいな花の姿が由来で「清純な心」「献身」といった花言葉を持つ一方で、毒を持つことから「危険」という花言葉も持っており、花言葉にもしっかりと二面性が反映されています。春の特別拝観の始まるころにたくさん花を咲かせますので、是非特別拝観にお越しになってください。



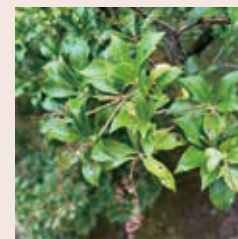
書院のあせび



書院のあせび



春の方丈



花がらと実

豆知識

花の後の花がらをそのままにしておくと、実をつけます。実に栄養を取られてしまいますので、花がらや実は取り除くことをおすすめします。

相国寺の昔

一枚の写真から

相国寺に残る「法堂」

解説◎柴田明蘭



大きな赤松の木がそそり立つ参道、その奥に大きな瓦屋根の堂々とした佇まいを構える法堂は、正に相国寺の「顔」。とも言えるのではないのでしょうか。そしてその「顔」は、昔と今の写真を良く見比べないとその違いが分からないほど変わりありません。



現在は参道の左右に積まれた石垣の上に、緑の垣根が造られています。これは参拝に訪れた人達が松林の中に容易に入れないようにする為に植えられたものなのでしょうか。

今号は慶長十年（一六〇五）建立の法堂（無畏堂）です。元来、法堂の手前（南側）の松林には仏殿があり、大きな伽藍が二棟並んでいたことになりましたから、現存していたらさぞ壮観な景観だったことでしょう。

謹奉賀新年



管長 大龍窟 有馬 頼底

皆さま、新年おめでとうございます。相国寺派各寺院の檀信徒の皆様、各寺院様をはじめ、本誌をお目通しの皆様に越年のお慶びを申し上げます。

前号でもお伝えしましたように、昨秋は承天閣美術館開館四十周年にあたり、名古屋の愛知県美術館で『相国寺展―金閣・銀閣 鳳凰が見つめた美の歴史』が開催され、連日大変な人出であった、と聞き及んでおります。引き続き、三月二十九日から五月二十五日までは、東京上野の東京藝術大学大学美術館において、七月中旬から九月上旬までは札幌市の北海道立近代美術館でも展覧されますので、是非お出かけ下さい。

昨年の能登半島地震は、元日だっただけに大変驚きましたが、九月の豪雨災害がさらに被災地に追い打ちを掛けました。私には水害の思い出がございます。それは昭和二十八年（一九五三）九月の「西日本水害」による被災です。当時私は大分県日田市のお寺で小僧をしておりました。あの時は大分、福岡、熊本を中心にすごい雨量となり、日田市を流れる三隈川も氾濫し、下流の筑後川一帯は広く水没しました。目の当たりにした「水の怖さ」を今でもよくよく覚えております。

改めて、被災された皆さまにお見舞い申し上げ、復興祈念をする次第です。

相国寺山内塔頭の慈雲院に併設されている社会福祉法人「衆善会 和敬学園」が創立百周年を迎えました。清水寺の大西良慶和上が京都仏教護国団の団長として設立され、その理事であった当時の慈雲庵住職樋口琢堂和尚が、境内の一部を少年保護事業の学園として引き継がれて創立されました。

園舎の新築や機関誌「衆善」の発刊、児童福祉法の改正や、社会福祉法人化など、その都度学園は運営体制を時流に合わせ、今日まで多くの職員
の努力によりたくさんの子供たちが巣立っていきました。

私も後援会会長として、各分野でご活躍の皆さんを講師にお招きしたり、
チャリティー墨蹟展への協力などでお手伝いをしてまいりました。

学園入口には坂村真民の「念ずれば花ひらく」の石碑が建っております
様に、これからも途切れることなく未来ある子供たちのために学園が継続
していくことを祈るばかりです。

いつも申し上げておりますが、世界では今この瞬間も争いが続いており
ます。慈愛の気持ちで対話し、くり返しになりますが、「和」の精神が世
界各地に届く事を強く祈念します。争いに巻き込まれ犠牲となった方々へ
哀悼の意を表します。

「作龍上天 作蛇入草」

（龍となって天に上り 蛇となって草に入る）

修行の末に境地を得た者であれば、ある時は龍のように堂々と鋭い力を
あらわし、またある時は蛇のように身を低くして、俗塵ぞくじんに分け入り衆生しゅじやうを
済度さいどすることをいう。変化自在へんげじざいなはたらきであり、大乘仏教における菩薩
行の在り方である。

蛇もまた龍と共に古来より信仰の対象とされてきました。技芸、芸能の
守護神である弁財天との結びつきは、皆様も御存じでしょう。脱皮をする
ことから強い生命力、長寿につながり、「巳年は実を結ぶ」とも申します。
辰年から巳年になる本年も、皆さまと共に無事を祈り、より良き一年にし
てまいりましょう。

年頭御挨拶



宗務総長 佐分 宗順

相国寺派寺院各位、檀信徒及び相国会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

令和六年後半期は、寺務局の活躍と皆様のご支援により無事に業務を遂行することができました。これから令和七年度に向けての準備を進めて参ります。

さて昨年に開催された愛知県美術館での相国寺承天閣美術館開館四十周年記念展「相国寺展―金閣・銀閣 鳳凰が見つめた美の歴史」は好評を博し、会期後半には一日に二千人を超える日が続いており、若い世代の入館者も多かったという報告を受けました。

愛知県は鹿苑寺住職であった村上慈海長老の出身地であり、長老のもとで戦後の鹿

苑寺を支えてきた私の父である豊光寺先住職佐分春應和尚の出身の地でもあります。ご縁のあるこの地で、承天閣美術館開館四十周年の記念展を開催できたことは私にとっても感慨深いものがあります。

今回の展覧会は相国寺に伝わる伝来の宝物の歴史をたどり、作品を時代毎に分類し、宝物の流れとその履歴を正確につかむことによって、いま相国寺に存在することの意味を明らかにし、什物を通して相国寺の歴史を通観するという仕立てにさせていただきました。また、図録の作成においても、文章の多い図録に賛否のあるところだと思いましたが、単なる図録ではなく、相国寺が守り伝えてきた什物の歴史とその魅力を図解や年表を交えて解説し、それぞれの時代に相国寺という場に生きた僧侶、画僧、それを助けた歴史的人物を描いた解りやすい構成になりました。さらに相国寺史編纂室顧問の先生方の解説も加え、今までにない図録になったと思います。

歴史の評価は時代によって変化するものです。今の瞬間を切り取りそのときの基準によって行った評価は、時代の流れによって再評価されることもあるでしょう。しか

しながら負の歴史の側面を隠蔽することなく、事実には忠実に記録し、それに基づき冷静に現時点での評価をすることが、今を生きる私たちのつとめであると思います。

いよいよ本年は、東京藝術大学大学美術館での「相国寺展」が始まります。次の展開に向けてよりいっそう力を注いでまいりたいと思います。

世界に目を向けると、ウクライナ戦争は未だに解決の兆しが見えず、イスラエルとハマスやその他のテロ組織との戦いも、終結のめどが立たない状態です。日本の近隣では、中国の台湾海峡を巡る不穏な軍事的示威行為は警戒をする必要があります。そして、アメリカはドナルド・トランプ氏を次期大統領に選びました。このような世界情勢の中で、日本は早急な対応が求められているのですが、今の状況は絶望的と言わざるを得ません。

自民党の頹廃ぶりがますます、先の総裁選では石破首相が選出されましたが、少数与党に成り下がり、まともな議会運営や施策が出来なくなりつつあります。加えて最大の情報源であるマスメディアの凋落ぶりは挽回不可能に見えます。

なぜなら公正な情報の取得は、新聞やマスコミの報道だけでは無理だと国民が気づ

いたからだと思います。インターネットを利用した情報収集も、正しい情報を見極め取捨選択するのは難しいことですが、今の日本の多くの人たちはその能力を身に付けつつあると思います。

昨年の兵庫県知事選で再選を果たした斎藤元彦知事は、全議員に全会一致で不信任を突きつけられ、すべてのマスコミからはパワハラ議員と確たる証拠も出ていないにもかかわらず非難され続けながらも、辞職した後再出馬し、他候補に大差をつけ当選しました。有権者は斎藤氏を選んだ。簡単には人々はだまされない、ということを確認した前代未聞の出来事であったと思います。すべてはまだ明らかになっていませんが、報道機関は真実を明らかにする義務があります。

引き続き本年も事務局一丸となって業務に励んで参ります。皆様のご協力とご支援をお願いする次第です。私たちにとって進展の年であることを願い、皆様のご健勝とご活躍を祈念して新年のご挨拶といたします。

年頭御挨拶



相国会长 松井 八束穂

管長有馬頼底猥下はじめ本派寺院並びに相国会会員信徒の皆様、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。昨年十月二十一日には当山夢窓国師の「開山忌」にて大勢の僧侶の重厚な読経が法堂に響き渡り厳粛に執り行われました。

元日は能登半島大地震、更に猛暑、迷走台風に見舞われ惨憺たる有様でした。今年こそは平穩無事を念じて止みません。

さて、今年の干支は巳です。「巳」とは弁財天の遣いとなった蛇のことで、弁財天の神社には蛇が祀られています。仏教寺院は弁財天を祀り、地域の神社と交流や祈願を行います。大本山相国寺の塔頭に大光明寺がありますが、その飛び地境内の京都市

上京区出町の「青龍弁財天」は賀茂川と高野川の合流点に位置し、地元の人々や観光客に親しまれています。弁財天は芸術や音楽、学問、知恵、財運を司る神として知られています。巳年に弁財天を信仰することは特に縁起が良いとされています。

昨年より相国寺承天閣美術館に於いてⅠ期 九月十四日～十一月十日、Ⅱ期 十一月十七日～本年二月二日迄「禅寺の茶の湯」展が開催されています。当美術館は現在の相国寺の文化財を紹介する施設というだけではなく、地域の人々、京都に観光に来られる人々の憩いの場として、また檀信徒の皆様が本山の歴史を学ぶ場として立派な文化布教施設としての活動を、有馬頼底管長猥下が開館以降、四十年にわたって続けてこられました。禅僧たちは、漢詩文や水墨画などの中国文化を取り入れて、日本の禅文化を発展させました。

特に「枯山水」の庭園や「茶の湯」の文化は、禅の思想と深く結びついています。禅寺が学問の場としても機能し、僧侶だけでなく武士や庶民にも学問の機会を提供し

ました。武士たちは禅宗の簡潔さと実践的な教えに共感し、その支援を行います。禅宗はまた幕府の公式宗教としての役割を担いました。禅宗の思想は茶道、庭園設計、書道、絵画などの文化面で影響を与えました。鎌倉時代から室町時代にかけて禅宗は日本の宗教、文化、社会に於いて大きな影響を与えました。武士階級や文化人に支援されることで禅の教えは日本芸術界に深く根付き、特に室町時代には五山十刹制度を通じて、禅文化が大いに栄えました。禅の教えは単なる宗教としてだけではなく芸術や学問、日常生活にも影響を与え日本文化の基盤を形成しました。

私事で恐縮ですが齢八十を数える身、此の異常現象に如何に対処するべきか悩んだ末に、管長猥下の著書「人生は引き算で豊かになる」「もつとという気持ちを手放せば心はラクになる」を拝読致しました。

インドの仏教者である摩拏羅尊者まぬらの言葉に「心は万鏡に随って転ず。転ずるところ実によく幽なり。流れに随って性を認得すれば、喜びも無くまた憂いもなし。」とあ

ります。人の心というものは、周囲の様々な状況によって惑わされます。しかし、その移ろいゆく様に心穏やかに寄り添えば、知恵が沸きだし、有頂天になったり、憂いたりすることも無くなります。仏教の基本的な教えの一つに「無常」がありますが無常とは、状態は常に変化しているという意味であり、人間の心にはもともとこのような柔軟さが保持されているでしょう。私はこの師の言葉を反芻すると活力を得ることができます。

最後になりますが、本年も皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。禅宗の教えを胸に刻み、共に精進してまいりましょう。何卒引き続き、ご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

円明法話

一個半個

南陽寺住職 加藤幹人

南陽寺が位置する第四教区は、福井県の西部、京都府北部の舞鶴市に隣接する大飯郡の高浜町とおおい町にあり、南陽寺はそのうちの高浜町の中にあります。昔の国割りで『若狭』と呼ばれておりました。古くには大陸との交易などの窓口的な地勢であり、明治期には滋賀県にも組み込まれていた様で、現在の大きな地域割りでは『北陸』と振り分けられますが、文化圏としては関西です。北は日本海に面し、三方は山に囲まれ、平野部は少ないものの、地味が豊かで美味しい米が収穫出来ます。海の幸と山の幸に恵まれた風光明媚

な土地柄で、人口は約一万人と少ないですが、寺院の数は多く、相国寺派第四教区二十九ヶ寺中十九ヶ寺もあり、他派・他宗も併せると三十ヶ寺以上もある信仰心厚い地域です。



境内の雪景色

高浜町は四つの地域が合併してできているので、町内には仏教会が2つ有り、南陽寺が所属する高浜・和田仏教会では、相国寺派寺院が十三ヶ寺と他宗七ヶ寺で形成されているため臨済宗形式で行事が営まれています。

花祭り、町内新亡供養並びに水難者供養施餓鬼会と法話、春期・秋期の托鉢、歳末助け合い募金托鉢と、一年を通して宗門を超えて交流し切磋琢磨しております。因みに、令和六年度の新亡供養施餓鬼法要後の法話を担当させていただきました。

南陽寺は相国寺第二世の春屋妙葩禪師（普明国師）の法系に基づく大智派になります。当山の三世「天外梵知和尚」は、当教区の園松寺住職として多くの寺院を本派に所属させていった大徳で、当時はこの若狭の地に三十ヶ寺以上も本派寺院があったそうです。園松寺は高浜の城主逸見昌経公の菩提寺であり、若狭大智派の窓口でもあります。そして、十月二十一日の相国寺開山毎歳忌は当教区の全

住職と有志の檀徒による団体参拝で本山を訪れています。

お盆の山門施餓鬼会出頭と年初月の大般若会出頭を含め年間行事で教区の各和尚方との交流も緊密なおかげで、住職の辞令をいただいてより十四年、わからない事なども多く、知らない土地での勤めも、先達和尚方から優しく丁寧なご指導のおかげでなんとか過ごせております。



山門施餓鬼で使用するために栽培している蓮

昨年は、本務先代和尚の十七回忌、兼務先代和尚二十五回忌と無事円成出来、有難く思

つております。また今年は、この地域の佐伎治神社に於いて『七年祭り』という六年に一度、七日間にわたって行う大祭がありますが、ようやく三度目の経験になります。神輿が三



境内での『七年祭り』の様子

基、曳山が七基も巡行し、太刀振や舞踊、和太鼓などが奉納され、南陽寺のある横町区では舞踊を奉納しますが、それまでの練習の成果を区民にお披露目する舞台として本堂で行われます。

最後に、岐阜の瑞龍僧堂で雲水修行中、犬山の瑞泉僧堂の報恩接心にて、玄々庵小倉宗俊老大師より頂いた御垂訓を一つ。

「一個半個だ。」

頂いた直後はさっぱり解りませんでしたが、その時の瑞泉の古参雲水に解説していただきました。『一個』とは完成されたもの、『半個』とはまだ完成されてないもの。宗門に於いては、僧堂の老大師方や印可を頂いた方々が『一個』。得度したそれ以外が『半個』です。『一個』でも『半個』でも土俵は同じ。足りていようがいまいが同じく勤めを果たさなければなりません。足りないから果たせない、出来

ないと諦めるのではなく、足りないからこそ、

日々の精進と工夫が大事ということです。これはどんな世界でも同じだと思います。能力や才能、設備や道具が有ろうが無かるうが、努力と工夫を積み重ねてそれぞれの勤めを努めなければ良い結果は望めません。

禅語に「一華五葉を開き、結果自然と成る」とあります。行わないなら、行わない結果が行ったなら行った結果がでます。

まだまだ足りない

半個の身ですが、日々精進して努めてまいりたいと思っています。



住職夫婦と共に過ごす猫の
丹股（たんあん）と丹恢（たんかい・右）

鐘楼堂並び梵鐘再建と精進料理

西光院住職 金森大融

西光院の梵鐘は、昭和十八年太平洋戦争の時金属回収で供出され、長い間姿を消していました。

鐘楼堂並びに梵鐘再建を願望した祖父（当時の住職西光院十世義孝大超和尚）の夢を一日も早く実現したいと側面的な協力に心を砕

き、祖母は賽銭貯金を励行しました。その実績は微々たる物で、大事業には焼石の水にも及びませんでした。

ある日 祖母が山内を散策している時、ヒラヒラと散りかかる桜の花びらが目にとまり、「桜湯」を考え又茶畑の茶の葉と花びらで「ぼ

てぼて茶」を発想し、山菜を主材料とした「精進料理」を作る事を考えました。

祖父母が参詣者（西光院は出雲国七福神霊場の一ヶ寺で毘沙門天をお祀りしている）に精進料理を接待し、「お志」を浄財として再建資金に与えようと考えました。

長い道の間を経て再建資金がある程度達した、昭和五十四年の正月の事、祖父は初めて檀家の皆様に、再建の計画を発表し、支援をお願いしました。

その年の暮、昭和五十四年十二月九日、当時の大本山相国寺派宗務総長鈴木浄雲長老様、鹿苑寺住職（金閣寺）村上慈海長老様、慈照



料理は境内の会館「對青居」でお召し上がりいただく

寺住職（銀閣寺）久山忍堂長老様をお迎えし、盛大に落慶法要が厳修されました。



梵鐘再鑄造 鐘楼再建 落慶記念 昭和54年12月9日

鐘 名 文

日昇月上響流十方
天下太平心身和楽
群生登覺沙界放光

京師北山金閣

鹿苑寺沙門慈海謹書

落慶法要の日、鹿苑寺村上慈海長老様の手によって梵鐘の第一声が鳴り響いた時、祖母は流れ落ちるうれし涙を払う事さえ忘れていました。

万人の 清しきまこと 頂きて
現に仰ぐ 鐘に涙す
朝宵に 撞木の網 吾が引けば
無量の思い しんしんと湧く

祖母がその時の感激を率直に詠じた短歌です。

鐘楼堂並びに梵鐘は立派に再建され、悲願



46年前に再建された鐘楼堂

成就の為に生まれた「ぼてぼて茶」「桜湯」禪の味「精進料理」はお寺の名物となって残りました。

この大事業に大本山相国寺様、鹿苑寺様、慈照寺様より多大な御助力を頂き、また西光院檀家の皆様方の御協力により心温まる浄財が、ここに鐘楼堂並びに梵鐘再建となって建立出来ました。

西光院をこよなく愛した祖母も百四歳の天寿を全うし平成二十三年に亡くなり昨年（令和六年）十三回忌法要を無事に終えました。祖母亡き後、母が精進料理を引き継ぎ四季折々の食材を使い食べる人の事を思い、心を込めて作っています。



西光院特製の精進料理

茶飯、胡麻豆腐、煮物、酢の物、和え物、天ぷら（もみじ・ふきのとう・土筆・たらの芽・三つ葉等）四季に合わせ素材を生かし、命をいただく感謝の心で材料はすべて使い切る様に工夫し調理しています。

味わい、盛付け、器の三つの良さが一つになって、初めて料理が生かされます。

私の住む地域は、コロナの影響もあり葬儀や法事も身内だけで済ませる家庭が多くなり、人との交流も希薄になりました。

西光院の年中行事は、毎年一月毘沙門天福祭り、三月に彼岸法要（布教師様をお迎えし法話）、七月には施餓鬼法要、八月盆の棚経、観音様のお祭りを致します。

昨年も八月十七日の夜、観音様のお祭りには屋台、盆踊り 郷土演芸（安来節・どじょうすくい・銭太鼓）等賑やかに催されました。ふる里を離れてお住まいの家族も里帰りをされ、夜の更けるのも忘れ楽しまれました。生まれ育った故郷を愛し、伝統を自慢出来る

事は有難い事です。お寺は人が来て仏様を拝み、法話を聞き、仏様の教えを知ってもらいたい場所です。

私は檀家 参詣者の皆様に禅語の法話をしています。

「日々是好日」
いちいちこれこうにも

これは雲門禅師の言われた有名な禅語です。

毎日毎日が 最良の日であるという事、雨の日も風の日も、また辛い日も悲しい日もそれを良き日と受けとっていくと言うことです。

「一期一会」
いちいちこうにも

この禅語は 今日の出会いは二度と繰り返されない、一生に一度だけの出会いを大切に、お話をしています。

「来る人にやすらぎを 去り行く人に幸せを」

心の故郷の寺になる様参詣の皆様 hands を合わせお迎えしています。

祖父母の意志を引き継ぎ、私は夕方般若心経を唱えながら静かに鐘を撞いています。

祖父 祖母よ 聴こえますか 鐘の音

天まで届けと タベの鐘撞く



見えないものに

演劇塾 長田学舎 梶田明子



「七福神を招きましょう」

年のはじめの御ことぶきは 松竹梅や福寿草 めでためたの鶴亀万歳
清めの御座おんざに七福神 お招き申して 祝いましょう」

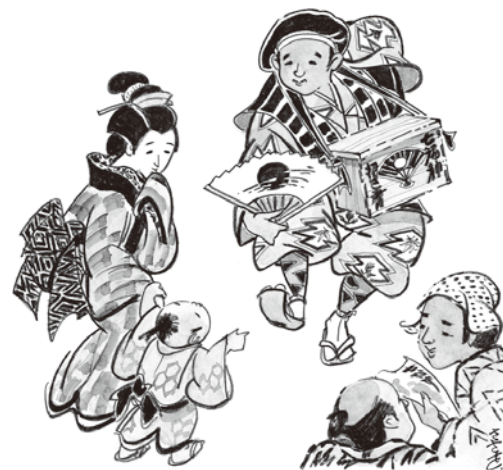
年の暮れになるとやって来る「七福神招き」の口上です。おめでたい言葉で町の人々に福を招き、一年の幸せを祈る「七福神招き」さんのように、年の暮れから年始にかけての物売りさん達には「厄を払って、福を招く」祈りの心いっぱい、おめでたい商いが目白押しです。

吉夢きちゆめを招く「宝船売り」、魔除け厄除けの「柊売り」、厄年の厄を落とす「厄落とし」、福徳円満の「大黒さん売り」、無病息災を願う「お守り札売り」：

こうしておめでたい商いの数々を見ていると、「今年は良い年になるかも…」と、なんだかウキウキしてきます。

「芸商人」さんを題材にしたお話を書かせてもらおう—と思い立ってから3年。傍にはいつも、長田純先生著作『町かどの藝能』がありました。『町かどの藝能』には、江戸中期に最も盛んだった「芸をもつて客を楽しませ商いをする商人—芸商人」の様々な商いが載っているだけではありません。芸商人さん達の「祈る心」とも、たくさん出合うことができます。

幸せが訪れますように：よい商いができますように：
元気にすくすくと育ちます様に：悪いものが来ませんように：



七福神まねき 長田純著『町かどの藝能』より

これらは決して自分のためではありません。自分の商い物を買ってくれるお客さんの幸せを祈る心です。このような、芸商人さんの他者を思いやる心は、私の心をもほかほかと温めてくれます。人の心など分らないしあやふやで、思い通りになりません。それに、この先の未来もどんなことが待っているのか見当が付きません。ですが、その「見えないものに思いを馳せる」ことを、芸商人達は大切にしてきました。ものが売れなければ生活が出来ない、ぎりの毎日を送っていたであろう彼ら。言わば、他人のことなど思いやる余裕が無いであろう生活を送っていた彼ら

が、決して忘れなかった心です。返して言えば、その心があったからこそ、芸商人達は物を売り、日々を暮らすことが出来たのかなあと、今は思わされます。

この、他者を思う心、見えないものに思いを馳せる心は、人が人であるための、一番大事な心の根幹を担っているのではないのでしょうか。

私達劇団員が、日々稽古場で向かい合っている演劇という芸術も、言ってみれば「見えないものに思いを馳せる」行為の集合体です。台本に書かれた人物に思いを馳せ、この人は何を考え、何を感じていたのだろうと寄り添う。昨今の演劇は、自分を思いきり表現するという、華やかな面がクローズアッ



2017年春の小さな劇場「愛」より

プされがちのようですが、実際はそうでない部分の方が多いと私は思います。なにしろ演劇は、集団で作り上げる総合芸術ですから。台本の人物に思いを馳せるだけでなく、一緒に演じる共演者に思いを馳せ、演出や監督の意図にも思いを馳せ…。まあ、ストレスのたまる芸術です。自分の意見や表現などどこへやらです。ですが、様々な人たちの想いをすり合わせ、燃り合わせて出来上がった演劇は、一人の力では想像もつかないほど大きなパワーを持っています。

世界の各地で争いが止まず、日本の近辺にも不穏な空気が漂い、明るい未来を思い描くことが、なんだか難しくなってしまった今日この頃。ともすれば利根的に、今だけ良ければ、自分だけ良ければ、他人のことなど考えている余裕はない、なんて思いに流されてしまいそうになります。そんな今だからこそ、忘れてはならないものがあると、芸商人さんの「祈る心」を思い出し、自分を戒めています。

「祈る心」を大事にしてきた芸商人さん達の生きざまを、そして、「見えないものに思いを馳せる」芸術である演劇を、一人でも多くの人に知ってほしい、触れてほしいと切に願い、私達劇団員は日々、活動しております。皆さまも、一緒に演劇なさいませんか？

それでは、

「皆様方にお幸せが、たーんと訪れる一年でありますように…」

【おさだ塾 次回公演のお知らせ】

2025年2月、おさだ塾は「第46回Kyoto演劇フェスティバル」のホールプログラムに参加します。

塾生西村諭士が書き下ろした新作を上演致します。

おさだ塾、実に6年ぶりの現代劇です。力が入っております。是非、劇場にお越しください。

「六九四〇（ろくきゅうよんぜろ）」

「ゆるす」とは？「家族」とは？—

絶縁してしまった親子と周囲の人々が織りなす
19年間を描く、優しい物語です。

2025年2月22日（土） 15時半〜16時半（予定）

於・京都府立文化芸術会館 ホール

お問い合わせ／おさだ塾 TEL・FAX（075）431-6681

ホームページ／<http://www.osada-iyuku.com>



○同宗連第一連絡会

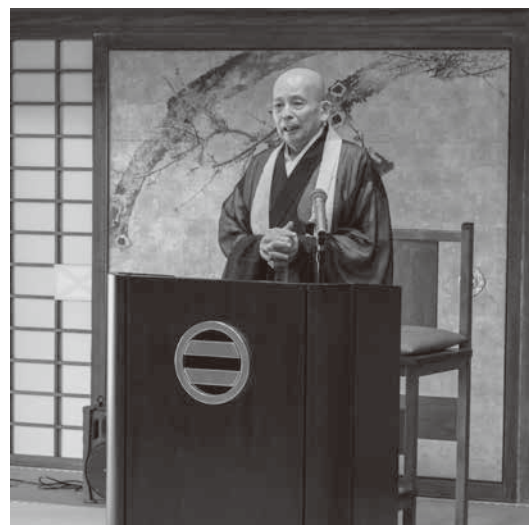
七月五日、黄檗宗大本山萬福寺黄龍閣別館二階(宇治市)に於いて令和六年度第二回同宗連第一連絡会が開催され、本派からは荒木庶務部員、須賀教学部員が参加した。常任会議の開催報告や各教団の情報交換等が終了後、「民族排外主義と中国人差別」をテーマに講師の林伯耀氏により講演が行われた。

○令和六年第六十七回 暁天講座

八月二日、三日に暁天講座を五年ぶりに開催した。前年は感染症対策として、暁天坐禅会として坐禅のみを行ったが、今回より以前と同内容で坐禅、講演、粥座の順で開催をした。

五年ぶりの再開にあたり、初日は佐分宗務総長による挨拶の後、江上教学部長による法

話「ありがとうの心」、二日目は京菓子司依屋吉富の代表取締役社長石原義清氏による講演「お盆の御菓子」がそれぞれ行われ、連日多数の方が参加された。



佐分宗務総長挨拶



江上教学部長法話



石原義清氏講演



坐禅をする参加者



食前に「食事五観文」を読む参加者

○同宗連第一連絡会

九月十八日、本願寺派開法会館三階研修室(京都市下京区)に於いて令和六年度第三回同宗連第一連絡会が開催され、本派からは須賀教学部員が参加した。今回の第一連絡会は第三連絡会と第六連絡会と合同で開催された。

常任会議の開催報告や各教団の情報交換等が終了後、講師により「伝統が継承する!?価値観からLGBTQを考える」というテーマで神道から見たLGBTQ同性婚についての研修会が行われた。

○令和六年度秋の特別拝観

九月二十五日より令和六年度の秋の特別拝観を行い、法堂、方丈、開山堂が十二月十五日まで公開された。

令和七年春の特別拝観は、三月二十三日から六月一日まで、公開場所は法堂、方丈、開山堂の予定である。

○普明忌

相国寺第二世普明国師の毎歳忌法要が十月三日（宿忌）、四日（半斎）の両日にわたり厳修された。

両日とも法堂での諷経の後、大通院昭堂（相国僧堂内）にて諷経がなされた。

○達磨忌

十月五日、達磨忌法要が執り行われ、法堂での諷経がなされた。

達磨忌は禅宗の始祖である達磨大師の法要であり、相国寺でも毎年執り行われている。

○愛知県美術館で『相国寺展』開催

十月十日、名古屋市の愛知県美術館で、承天閣美術館開館四十周年記念の『相国寺展』開催に先立ち、相国寺より佐分事務総長、矢野大光明寺住職、山木鹿苑寺執事長、和田承天閣美術館事務局長、澤承天閣美術館参事をはじめ十三名の僧侶と学芸統括の高橋範子氏が出向き、主催者、学芸員、協賛、協力の各団体、各企業と共に記念法要、記者発表、内覧会を行った。

翌十一日より十一月二十七日まで連日多数の来館者があった。

（巻頭カラー2ページ参照）

○開山忌

開山夢窓国師の毎歳忌法要が、十月二十日（宿忌）、二十一日（半斎）の両日にわたり厳修された。臨黄各山、天龍寺一山、縁故他宗派、本派近末寺院の各尊宿にもご出頭を、第四教区若狭相国会、第六教区鹿児島・宮崎相

国会より合わせて一四〇名の団体参拝、法要参加をいただいた。

二十一日は、九時より法堂において有馬管長に代わり小林老大師導師のもと献粥諷経が



法要に出頭する天龍寺一山や本派和尚



臨済各派や他宗派僧侶、相国会会員が列席

撮影◎柴田明蘭

はじめ、諸堂焼香、奠供十八拜が行われ、出班焼香に引き続き楞嚴呪行導が厳修された。続いて、開山堂にて諷経がなされた。

また、法堂では最後に総代、相国会の参列者と共に「般若心経」を諷誦し、参列者の声が堂内に響き渡った。

小林老大師香語は左の如し。

開山毎歳忌香語

夢中問答錦文章 夢中問答は錦の文章なり

便是大圓晶痛腸 便是大圓の痛腸を晶かにす

月遶秋承天冊総 月は秋を遶承天は四拾総たり

年山百末遶流芳年山 年山の百末は遠く

芳流れんことを

玄徳九拜

定中昭鑑

○令和六年「相国寺派寺院庭婦人研修会」開催
十月二十四日、二十五日、第四十一回「寺院婦人研修会」が開催された。今回は第一教区から第六教区の各寺院より十六名が参加した。

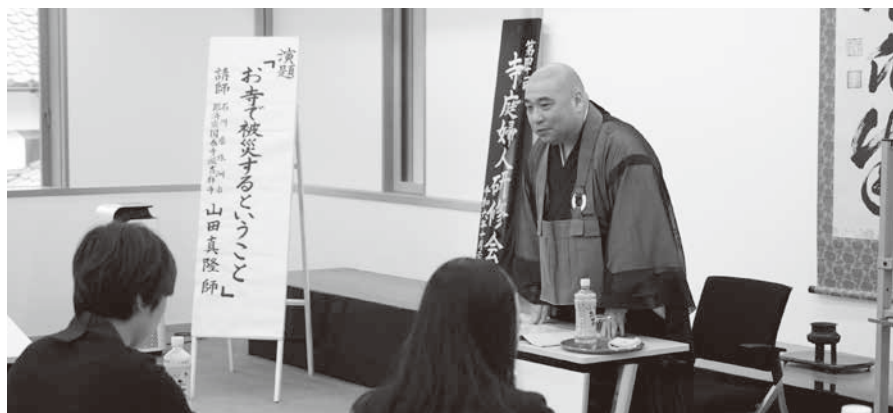
初日は諸説明に続いて、方丈に於いて佐分宗務総長を導師に開講式を行い、一同で諷経の後、本年も有馬管長によるご垂訓を賜った。管長からは「承天閣美術館開館四十周年記念」の事や名古屋で開催中の特別展を「是非しっかりとご覧いただきたい」との話を頂いた。

法堂、方丈、開山堂の拝観と承天閣美術館『禅寺の茶の湯展』とに分かれて観覧後、須賀教学部員と共に坐禅を行った。

今回の講義では、石川県珠洲市の臨済宗国泰寺派吉祥寺住職で臨済宗連合各派布教団の布教師でもある山田真隆師をお迎えし、「お寺で被災すること」と題して昨年元日に発生した大地震発生時の様子や伽藍の被災状況、その後の避難生活、行政の対応、石川



寺庭婦人研修会での坐禅説明



吉祥寺山田真隆師の講演

県内の地理的距離による温度差、備蓄すべき生活用品、檀信徒との関わりや県外避難を決定するまでの様子など、経験者ならではの差し迫った内容、命の大切さ、「自救」の考え方なども交えて力強く語っていただいた。

二日目は、教学部引率で京都駅から新幹線に乗りし名古屋へ移動、名古屋市の愛知県美術館で開催中の『相国寺展』を観覧した。学芸員による概要解説に続き、館内に入ったが、来館者は大変多く盛況であった。午後からは徳川美術館を訪問し、尾張徳川家の遺品や併設の蓬左文庫で『魅惑の源氏物語展』を観覧した。

◇参加者名簿（教区・台番順）

第一教区 澤 万里子・澤 洋子（林光院）

有浦まいかエリサ（長得院）

中山恭代（慈雲院）

荒木寿絵（光源院）

平塚久恵（養源院）

○第二教区相国会 団体参拝

十一月十三日、第二教区京都府下の相国会一行 三十六名が相国寺を団体参拝された。当日は、方丈で諷経後、相国会副総裁の佐分宗務総長、相国会本部長の江上教学部長より挨拶、書院では須賀教学部員による坐禅、荒木庶務部員（第二教区光照寺住職）により「法堂・方丈・開山堂」の拝観案内がされた。

江上正子（眞如寺）

第三教区 佐々木恵子（天正寺）

第四教区 加藤祐生（南陽寺）

田中温子（円福寺）

石崎典子（海岸寺）

鈴木笑子（潮音院）

五十嵐多賀子（善應寺）

第五教区 延本美智子（本誓寺）

第六教区 矢野志保（南洲寺）

松本亜弥（光明寺）

（巻末カラー90～91ページ参照）

○第五教区出雲相国会 団体参拝

十月二十八日、第五教区島根県の出雲相国会一行三十四名が相国寺を団体参拝された。

例年は十月二十一日の開山忌に他教区と共に団体参拝されるが、本年は単独で「法堂・方丈・開山堂」の特別拝観をして頂いた。



団体参拝された第二教区支部の皆様

坐禅会のご案内

本山維摩会

◆毎月第二・第四日曜日開催

(※一月第二、八月第二・第四、十二月第四日曜日は休会です)

※行事等の為、予告なく休会することがあります。

相国寺の維摩会は、明治時代に当時の第一二六世荻野独園住職が、主に在家を対象として始めた坐禅会であり、以来歴代の相国寺住職が指導にあたってきました。第二次大戦中より戦後昭和三十八年頃までは、相国寺塔頭大光明寺で開催され、それ以降は再び本山での開催となり、現在に至っています。

維摩会の名称の由来は、經典『維摩経』の主人公で、在家でありながら釈迦の弟子となった古代インドの維摩居士からつけられたものです。

会場…相国寺 本山大書院

時間…午前九時より十一時迄

内容…坐禅(九時〜十時半)

法話(十時半〜十一時)

注意点…当日は八時五十分までに必ずお集まり下さい。十人以上で参加の際は、前日までに電話連絡をお願い致します。

(電話〇七五二二一〇三〇一)

先着順に受付し、満員の場合はやむなくお断りする場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

威儀…服装は楽でゆつたりとしたものが望ましい。肌の露出が多い服やフード付きの上着、スカート、硬い素材(デニムなど)は避けて下さい。

東京維摩会

◆開催予定日(八月、十二月は休会です)

令和七年一月十一日(土)、二月八日(土)、三月八日(土)、四月十二日(土)

五月十日(土)、六月十四日(土)、七月十二日(土)

九月十三日(土)、十月十一日(土)、十一月八日(土)

会場…相国寺東京別院 方丈・客殿

時間…午前十時半より十二時迄

内容…坐禅、『証道歌』講話、茶礼

威儀…服装は楽でゆつたりとしたものが望ましい。肌の露出が多い服やフード付きの上着、

スカート、硬い素材(デニムなど)は避けて下さい。(更衣室あり)

※最新の情報は、相国寺派ホームページをご覧ください。相国寺東京別院(電話〇三―三四〇〇―五八五八)までお問い合わせ下さい。



東京維摩会会場 方丈・客殿 玄関



TEL 03-3400-5858

会場：方丈・客殿

〒107-0062 東京都港区南青山6丁目13-12

第一教区

○「和敬学園」百周年記念式典開催

十月十四日、社会福祉法人の衆善会「和敬学園」（理事長は慈雲院草場周啓住職）が創立百周年記念式典を市内のブライトンホテルで開催し、森清範清水寺貫主はじめ和敬学園関係各位が出席され、はじめに有馬頼底管長猊下のビデオメッセージによる御祝辞を賜り、続けて佐分宗順宗務総長より祝辞を賜りました。

長らく学園に対し貢献された関係者へ感謝状と記念品の授与式の後、記念講演の講師として、冷泉家時雨亭文庫常務理事の冷泉貴実子氏が「和歌に詠まれた四季」と題して御講演いただき、氏の蘊蓄の深さに一同感銘を受け拝聴しました。第二部では、和敬学園の園

児によるダンスや合唱が披露され、記念式典は盛大に挙行されました。
創立百周年を無事迎えることが出来ましたのは、正に関係各位皆様のご協力のお陰様と、厚く御礼申し上げる次第です。

撮影◎柴田明蘭



時雨亭文庫の冷泉貴実子氏による記念講演



祝辞を述べた佐分宗務総長



学園貢献者へ記念品を贈呈する草場理事長

○妙音堂お火焚祭法要

十一月二十七日、大光明寺（矢野謙堂住職）の飛び地境内で京都市上京区出町にある妙音弁財天堂で、秋季お火焚祭が開催され、第一教区より江上正道眞如寺住職、中山周真慈雲院副住職、第三教区より佐々木栴堂天正寺住

職、および相国僧堂より雲衲二名が出頭した。
法要に先立ち、岐阜県妙心寺派明鏡寺々庭
田中旭泉氏による筑前琵琶の奉納演奏、続い
て一般財団法人「游神会」代表理事珠寶氏に
よる献花が行われ、その後境内に積まれた護
摩木に、拝殿から移された御神火が点火され、
矢野住職導師のもと大般若法要が厳修された。
法要後は拝殿前で住職による法話があり、続
いて境内にある豊川稲荷社において般若心経
と豊川稲荷ご真言が唱えられた。その後再び
拝殿前において、住職が大般若経本で参拝者
一人ひとりに、厄除け肩叩きの加持をおこな
った。

本年の干支は巳年ということで、弁財天を
祀る寺社仏閣はメディアの関心も高く、特に
妙音堂では二〇一三年の巳年から始めた「巳
の日法要」（毎年五月巳の日開催）が、干支
一巡の記念の年を迎えた。

第二教区

○相国会第二教区支部総会
六月二十二日、大應寺（京都市上京区）に
おいて相国会第二教区支部総会が二十六名の
参加を得て開催された。

はじめに大應寺久山弘祐住職導師のもと、
般若心経・開甘露門を読誦した。次に総会に
入り山本英生支部長から前年度の事業報告が
なされ、今後の活動等について協議した。相

国会第二教区支部会則の見直しと本山団体参
拝の要望があった。会議後は懇親会を開き親
睦を深めた。



相国会第二教区支部総会



総会前に行われた諷経



総会の様子



秋の弁財天法要に合わせて行われる御火焚

第三教区

○法雲寺大塚前任職大祥忌



大祥忌諷經



法要参列者

六月二十七日、法雲寺（兵庫県赤穂郡上郡町苔縄・江上正道兼務住職）において、大塚月潭前任職の大祥忌が執り行われた。

当日は大塚師法縁の松蔭寺宮本圓明老大師はじめ臨済僧堂会下や縁故寺院諸老宿、本派より同教区の福圓寺大谷昌弘師、大塚師徒弟の第四教区南陽寺加藤幹人師、法類の第一教区瑞春院副住職須賀集信師、苔縄自治会会長ほか役員、檀信徒や赤松家末裔縁者に出頭、参列していただき、本堂で兼務住職を導師に諷經と出齋をして無事終了した。

○法雲寺ゆかり赤松家「赤松サミット」と法雲寺大掃除の会

十一月十七日、兵庫県神崎郡市川町の市川町文化センターで、第一回「赤松サミット」が開催され、法雲寺の江上正道兼務住職と第四教区南陽寺加藤幹人師、第一教区瑞春院副住職須賀集信師が参加した。

播磨国守護だった赤松則村公（法名円心・一二七七〜一三五〇）は法雲寺の開基で、境内には木像や供養塔があり、白旗城がある上郡町をはじめ但馬から播磨一帯には赤松一族

ゆかりの地が多い。今回のサミットは、赤松家の顕彰とまちづくりを考える交流会であったことから、赤松家末裔の方や関係者が参加され、別府大学の赤松秀亮氏の基調講演やグループワークが行われた。



サミットで法雲寺について話す江上兼務住職

翌十八日には、法雲寺にて数年間出来ていなかった坐禅堂や円心堂の掃除を行い、上郡町地域起こし協力隊や町在住の方、赤松家末裔の方、サミット参加の方をはじめ有志の皆様に協力いただいた。

上郡町民からも法雲寺坐禅堂活用についての打診があることから、今後は赤松家顕彰活動とも連携し、引き続き、地元行政や地域起こし協力隊とも協力し、宗門のみならず広く一般に坐禅会などで活用する機会を作り、布教活動と地域交流のモデルケースとなるような模索をしてまいりたい。

【坐禅堂の活用に関するお問い合わせ】
相国寺派宗務本所内

教学部 担当 江上まで

電話 075-231-0301

E-mail: kyogaku@shokoku-j.jp

第四教区

○若狭相国会 役員会

六月十一日、眞乗寺に於いて開催した。相国会本部役員会の報告。

○宗務支所 支所会

七月九日、眞乗寺に於いて開催した。お盆の日程調整、開山忌団参について協議した。

○正善寺閑栖和尚津送

十月一日、正善寺（大飯郡高浜町蘭部・額川孝生住職）に於いて前任職の原田忠俊閑栖和尚津送並びに新忌斎を厳修した。師は昭和五年のお生まれで、昭和三十二年に当寺の住職に就任され、平成十七年に退任されるまで長きにわたって寺門興隆に務められた。当日は法類寺院・檀信徒が多数参列した。



正善寺閑栖津送法要



焼香する参列者



坐禅堂掃除



円心堂掃除

○相国寺開山忌 団体参拝

十月二十一日、バス三台に九十九人が分乗し早朝出発し、本山相国寺へ団体参拝した。到着して、法堂に案内いただき、半斎法要に参列、最後には在家者全員で「般若心経」を読経した。

その後、東寺（教王護国寺・京都市南区）を参拝、境内は弘法市で賑わいを見せていた。

第五教区

○住職交代のお知らせ

●本誓寺住職が交代致しました。延本輝典和尚が、檀信徒の皆様より惜しまれつつ退任されました。これを受けて新たに大本山相国寺より辞令が下り、令和五年十二月一日付で延本秀道和尚が檀信徒の信任のもと、住職として就任されました。

●霊雲寺住職が交代致しました。三代政道和尚が、檀信徒の皆様より惜しまれつつ退任されました。これを受けて新たに大本山相国寺より辞令が下り、令和六年六月一日付で三代積峰和尚が檀信徒の信任のもと、住職として就任されました。

○出雲相国会三役会

八月三日、富田寺で開催致しました。この会議では、「坐禅会」や「本山団体参拝」について協議致しました。

○坐禅会

八月二十四日、午前七時、本誓寺本堂で坐禅を行いました。午前六時頃に役員が集まり、六時半に本誓寺本堂前庭でラジオ体操をして体をほぐし、続いて本堂に上がり坐禅を行いました。参加者の多くが「初めて坐禅を行う」を前提に、三回に分けて少しずつ時間を延ばしながら無理のない程度で行いました。坐禅



第五教区坐禅会



第五教区ラジオ体操

会場となった本誓寺は、山の麓に位置しており、駐車場より少し見上げる高さにあるお寺で、山間よりいでの朝日を浴びながら、格別な想いで坐る事ができました。

○雲州一派第一回住職会

十月十日、午前九時四十五分、富田寺書院にて第五教区ご寺院様が揃われたところで行いました。この会議は、支所長より今後の教区行事についてご報告を行い、ご寺院様のご意見をいただく形で行いました。主となる行事内容は、団体参拝と巡教で、前者の令和六年度本山団体参拝は例年、本山相国寺開山忌を目安に計画していましたが、今年は干支に因んで『本山法堂の天井画「蟠龍図」を静かな空間で拝観する』をテーマに企

画し、現在の参加者数と行程表についてお話しを致しました。後者の令和七年春の巡教については、派遣される巡教師が未定であった為、日程表をお配りして検討をお願い致しました。



第五教区住職会

○雲州一派開山和尚法要
十月十日、第一回住職会を終えてから開催致しました。開山忌法要は昨年同様、第五教区各ご寺院様、出雲相国会理事様、富田寺理事様の二十一名ほどの参加で、経前茶礼に始まりその後、富田寺本堂で九拜式にて営みました。雲州一派開山塔参拝は、富田寺本堂西側室内より礼拝棚を設けて塔参と致しました。



雲州一派開山忌

第六教区

○相国寺開山忌団体参拝

十月二十一日、本山で厳修された開山忌に、相国寺派第六教区から良福寺住職・檀信徒二十二名、西林院檀信徒の桑山家五名の総勢二十七名にて参拝いたしました。天候にも恵まれ荘厳な雰囲気の中で開山忌法要が執り行われ、団参一同その深い歴史と継がれてきた法灯に大変感激されておりました。

良福寺団参は二泊三日の旅程の中で、鹿苑寺・天龍寺等を巡り祖師の足跡を辿る大変有意義な旅となりました。



大本山相国寺開山忌団参

令和六年度（雪安居） 相国僧堂 在錫者名簿

京都（相国）大通院 徒 日比野宗訓
滋賀（大徳）福聚院 徒 佐藤宗淳
京都（相国）大通院 徒 長尾謙伸

研修会

【現代問題研究】

令和六年度後半の現代問題研修会は、引き続き京都仏教会との共同研究とし、キャッシュレス決済の問題について、信教の自由との関係をより緻密に検証しながら、寺院側主導の健全なシステムを具体的に構築するための作業を進めておりますが、今年度中をめどに完成を目指します。

【相国寺研究】

今年度の研修会の予定はありません。

令和元年度に開催した研修会「禅の特徴」講師 小川 隆氏 講義録

発刊が遅れておりますが、前回ご報告したとおり、講義を基に大幅な訂正を加えて、春秋社より一般図書として発行が予定されております。今回は春秋社の本を持って教化活動委員の講義録に替えたいと思います。発行日は現在未定ですが、できあがり次第相国寺派寺院に配布する予定です。

●相国寺史編纂室が調査し、まとめた相国寺本坊、鹿苑寺、慈照寺をはじめ、各塔頭寺院の文書及び什物の検索システムが完成間近となりました。
今後の相国寺研究が進展することが期待されます。

【出版案内】

「宗教に対する国家の干与をめぐる諸問題」

目次

＊第一回共同研究会 令和五年五月二十三日（火） 於…東京 創価大学 東洋哲学研究所
テーマ 旧統一教会問題をめぐって
一、寄附新法の問題点

京都仏教会宗教と社会実践センター所長 櫻井園郎
二、マインドコントロールについて
東洋哲学研究所 委嘱研究員 弁護士 本村 亮

三、宗教2世問題について（こども家庭庁「事務連絡」を射程に入れて）
東洋哲学研究所 委嘱研究員 弁護士 小松健治

質疑応答 資料

＊第二回共同研究会 令和五年十月三十日（月） 於…京都 大本山相国寺 承天閣美術館
テーマ 宗教法人に対する課税論議をめぐる
宗教法人に対する法人課税のゆくえ ―「公益」による個別審査論の問題性―

京都仏教会 宗教と社会実践センター主任研究員 田中 治

質疑応答 資料

発行日 二〇二四年六月一日

編集発行 京都仏教会 宗教と社会実践センター

公益財団法人 東洋哲学研究書

印刷 株式会社 精巧社

【出版物のご紹介】

『相国寺史』第二巻 資料編中世二

相国寺史編纂委員会編 原田正俊・伊藤真昭監修

二〇二三年一月三十一日発行

発行所 法蔵館 定価九〇〇円＋税

内容 応仁元年（一四六七）～永禄十年（一五六七）の史料を編年体にとめて掲載



『相国寺史』をお求めの際は、お近くの書店もしくは法蔵館へお問い合わせください。

過去に発行した各講座および研修会の『講義録』をご希望の方は、一冊につき手数料一千円を添え、左記の相国寺派宗務本所内教化活動委員会宛にお申し込みください。

各講座の参加申し込みや既刊の『講義録』リストは、相国寺派ホームページの「資料室」・「書籍案内」をご覧ください。

◆申込先 相国寺教化活動委員会

〒六〇二一〇八九八 京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町七〇一

電話 〇七五―三三一〇三〇― FAX 〇七五―二二一三五九一

ホームページ (<https://www.shokoku-ji.jp>)



相国寺史編纂室へんさんしつだより ― 明治初期における塔頭の減少 ―

現在の相国寺には、山外塔頭である鹿苑寺・慈照寺・眞如寺を合わせて十五カ寺の塔頭が存在します。しかし、江戸時代の延享三年（一七四六）に幕府へ提出された末寺台帳である「禅家済家五山相国寺本末牒」には四十八カ寺の塔頭が記載されていました。数多く存在した塔頭がどのような経緯で現在の数にまで減ってしまったのか、その経緯を振り返ってみたいと思います。

相国寺の塔頭は、江戸時代末まで基本的に四十八カ寺を保っていました。天明八年（一七八八）に発生した天明の大火では、東は鴨川、西

は千本通、北は鞍馬口通、南は六条に囲まれた市街地がほぼ焼失しており、相国寺において焼け残ったのは法堂・浴室と塔頭九カ寺のみでした。しかし、この時期の相国寺は年貢減少などが原因で財政難に苦しんでいたにもかかわらず、寛政三年（一七九一）には「境内坪数并諸建物」という再建を目的とする図面をほぼ全ての塔頭が作成しています。幕府から与えられた一七六二石余りの寺領は各塔頭に配分されているので、その名目上、塔頭を焼失したまま放置することはできなかったのです。

塔頭数減少の原因となったのは、明治四年（一

八七一）一月五日に新政府より発せられた寺社領の没収令である上知令です。上知令により相国寺は寺領を没収され、維持できなくなった塔頭の廃寺が進みます。明治六年二月に作成された「相国寺派廃止寺名取調帳」では、鹿苑院・亨川軒など十七カ寺の塔頭が廃絶したと記録されています。このとき廃絶した劫外軒の建物や本尊・什物は明治七年十一月に本山に委託されました。

財政基盤を失った相国寺には、その後も塔頭を再建する余力はなく、大正十四年（一九二五）の「臨済宗相国寺派寺籍僧籍録」では塔頭は現在の数にまで減少しています。しかし、何らかの形で塔頭を再興したいという思いは山内に存

在しており、明治三十八年に実を結ぶことになります。すなわち、明治十一年に荻野独園によって設置された鹿兒島市の相国寺出張所を寺院化するために廃絶した塔頭冷香軒の名義を移すことになったのです。さらにこの寺は南洲寺と改称されるので、名義移転は便宜的なものであったとも考えられるのですが、このとき京都府に提出された「寺院再興并改称願」には「冷香軒永遠維持ノ方法モ確立シ」と記されており、出張所の寺院化が冷香軒を復活させたいという山内僧侶の思いを反映していたこともうかがえるのです。

（相国寺史編纂室研究員 藤田和敏）



忌 名

没 年

一周忌（小祥忌）	令和六年（二〇二四年）
三回忌（大祥忌）	令和五年（二〇二三年）
七回忌（超祥忌）	平成三十一年（二〇一九年） 令和元年（二〇一九年）
十三回忌（称名忌）	平成二十五年（二〇一三年）
十七回忌（慈明忌）	平成二十一年（二〇〇九年）
二十三回忌（思実忌・念三回忌）	平成十五年（二〇〇三年）
二十五回忌（大士忌）	平成十三年（二〇〇一年）
二十七回忌（念七回忌）	平成十一年（一九九九年）
三十三回忌（冷照忌）	平成五年（一九九三年）
五十回忌（五十遠年忌）	昭和五十一年（一九七六年）

※年忌法要の詳細については、各菩提寺にお問い合わせください。

The Future Active Advance 株式会社 YAMATO Technical Systems パソコンからネットワーク・サーバ構築まで IT 環境のトータルアドバイザ  〒604-8842 京都市中京区壬生土居ノ内町 19-13 TEL: 075-311-9000 FAX: 075-311-9494 e-mail: info@yamato-ts.jp	創業明暦年間  登録商標 七味家 〒605-0862 京都市東山区清水二丁目221 TEL (075) 551-0738 / FAX (075) 531-9352 ゴヨウハシチミヤ 0120-540738 9:00~18:00 (冬季は9:00~17:00) https://www.shichimiya.co.jp/
こころをつたえる 和文具 和雑貨 株式会社 表現社 〒602-0861 京都市上京区新烏丸通り荒神口南入る TEL: 075-222-1345 / FAX: 075-222-1354 https://hyogensha.net/	三楽税理士法人 代表税理士 奥谷昌雄 代表税理士 内藤 誠 〒602-8026 京都市上京区新町通榎木町上る春帯町340番地 TEL (075) 256-2551 FAX (075) 255-7461
式典写真、風景写真など あらゆるニーズにおこたえます！ 柴田明蘭 写真事務所 (公益社団法人) JPS 日本写真家協会 会員 090-8387-7735 FAX 075-311-9369 〒615-0057 京都市右京区西院東貝川町24 シェルブリュール 403	 TDS 寺社の電気、空調、防犯、防災設備 有限会社 土橋電気設備 〒606-0953 京都市左京区松ヶ崎海尻町4番地4 まちやまちや 105号 TEL 075-703-6331 FAX 075-703-6332
 温故知新を織る…  株式会社 龍村美術織物 URL: https://www.tatsumura.co.jp/ 関西店 〒615-0022 京都市右京区西院平町25 ライフプラザ西大路四条2階 TEL (075) 325-5580 FAX (075) 325-5606 関東店 〒104-0042 東京都中央区入船一丁目5番11号 弘報ビル6階 TEL (03) 3551-5756 FAX (03) 3551-8117	お越しいただくあの方の為に あなたの想いの一番近くに  イベント設営・レンタルの京老舗 てらおかしものてん 有限会社 テラヲ貸物店 075-414-1464 office@terao-rental.com https://www.terao-rental.com

大本山相国寺御用達 御法衣・仏具 (株) 後藤利法衣店 〒604-8273 京都市中京区西洞院通三条上ル 電話 (075) 221-4587 FAX (075) 223-0094 フリーダイヤル (0120) 014587	大本山相国寺御用達 社寺建築 (株) 北村誠工務店 〒603-8225 京都市北区紫野南船岡東町45 電話京都 (075) 441-0563 FAX京都 (075) 441-0571
大本山相国寺御用達 文化財堂宇修復保存 社寺建築 設計・施工 数寄屋建築  澤基株式会社 澤野工務店 本社 〒605-0069 京都市東山区東大路通知恩院前上ル2筋目東入 TEL (075) 561-5394 (代) FAX (075) 533-3775 山科事務所・工房 〒607-8126 京都市山科区大塚元屋敷町62 TEL (075) 541-1257 (F)	大本山相国寺御用達 庭園 設計・施工 樋口造園株式会社 〒602-8341 京・上京区七本松通中立売下ル三軒町77 電話 (075) 462-1385 FAX (075) 464-6120
天和三年創業 大本山相国寺御用達 藤安田念珠店 〒604-8072 京都市中京区寺町六角角 TEL (075) 221-3735 https://ssl.yasuda-nenju.com/ 	大本山相国寺御用達 精進料理 矢尾 治 〒600-8486 京都市下京区高辻堀川町358 電話 (075) 841-2144 FAX (075) 841-2110
夢のある空間づくりのパートナー トータルディスプレイ 企画・設計・施工・管理 TOTAL DISPLAY  FUSHIMI KOHGEI 株式会社 伏見工藝 【本社】 〒612-8009 京都市伏見区桃山町見附町11番地 TEL 075-621-2833 FAX 075-611-5465 【宇治工場】 〒611-0041 京都府宇治市横島町吹前15番地 TEL 0774-23-9255 FAX 0774-23-9254 e-mail: fushimi@d1.dion.ne.jp	貴重な御法衣の御用は 大本山相国寺御用達  後藤新助法衣仏具店 〒616-8041 京都市右京区花園寺ノ前町30番地 電話(代表) (075) 462-3915番 ファクシミリ (075) 462-3616番 URL https://www.rinzai.jp E-mail: rinzai@rmail.plala.or.jp

明治30年創刊 宗教専門紙

中外日報

<https://www.chugainippoh.co.jp>

週2回(水・金曜日)発行
定期購読料(税込)
半年22,200円 1年44,400円

購読・試読のお申し込みは
☎ 0120-015-177



京都本社 〒601-8004 京都市南区東九条東山王町9 TEL.075-671-4800
東京支社 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-13 TEL.03-3816-4721



感動のそばに、いつも。

JTB京都中央支店 TEL. 075-284-0173

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 167 AYA四条烏丸ビル 2F
営業時間 9:30~17:30/土・日・祝日・年末年始休業



大本山相国寺御用達
寺社庭園・町屋庭園・露地庭
作庭 管理

植昭 長岡造園

〒616-8305 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町13-3
電話 (075) 872-0005 FAX (075) 872-0004
HP: nagaokazouen-kyoto.com

大本山相国寺御用達
京仏具・仏壇

株式会社 **佛光堂**

〒600-8033

京都市下京区寺町通仏光寺下る
(四条寺町、南へ200M、西側)

TEL(075)351-4092 FAX(075)351-7231

受け継がれるご奉仕の心を大切に



オリジナル商品
をお創りします

ACT MIYAKO 株式会社 アクトみやこ

〒615-8083 京都市西京区桂長町15-24
TEL.075-634-5084 FAX.075-634-5085
E-mail: taichi-matsuo@actmiyako.co.jp

大本山相国寺御用達

京都市指定

有限会社 **丸水設備工業**

●上下水道衛生設備 ●ボリング井戸 ●消火栓設備
●庭園池の濾過設備 ●お墓の雨水処理 ●設計施工

〒603-8354 京都市北区等持院西町32
TEL (075) 462-8888(代) FAX (075) 462-8998

京名物 **夷川五色豆**
京銘菓 **月しろ**

創業明治17年 **豆政**
京都 夷川

京都市中京区夷川通柳馬場西入六丁目264
TEL 075-211-5211 FAX 075-211-4520

大本山相国寺御用達



深草瓦師 寺本甚兵衛

(株)寺本甚兵衛製瓦

〒612-0873 京都市伏見区深草瓦町 20

電話 (075) 641-0287

FAX (075) 641-9771

京菓子司

千本玉壽軒

〒602-8474

TEL:075-461-0796 FAX:075-464-6717

京都市上京区千本通今出川上ル上善寺町 96

<http://sentama.co.jp/>

ブライトホール

家族葬専用 別邸

公益社

☎ 0120-004-200

24時間365日対応 無料相談

www.shoyeido.co.jp



香



大本山相国寺御用達

香老舗 松榮堂

京都本社／京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL 075-212-5590 FAX 075-212-5595
東京支店／東京都中央区日本橋人形町 2-12-2 TEL 03-3664-2307 FAX 03-3639-4969
札幌支店／札幌市中央区南 8 条西 12 丁目 3-6 TEL 011-561-2307 FAX 011-563-3502

京都本店 産寧坂店 京都駅 薫々 嵐山香郷 大阪本町店 銀座店 人形町店 横浜店 札幌店



YPG

ヨシダ印刷株式会社
株式会社ヨシダ洋紙
株式会社ヨシダ七尾
ワイピービズインブルー株式会社

大切な財産を「想い」と ともに大切な人へ。



相続・資産承継について、一緒に考える
お手伝いをさせていただきませんか？
相続に関する疑問やご不安がある方は、
最寄りの京都銀行の店舗まで
ご連絡ください。

ご来店予約はこちら



■個別の対策の立案、実行は税理士・弁護士等の方々と十分で相談のうえ、ご自身の責任においてご判断くださいますようお願い申し上げます。■ご相談の中で当行にてご案内させていただく各種商品・サービスにつきましては、当行所定の審査や手数料等が必要な場合がございます。

 京都銀行 鞍馬口支店 075(441)8111


ANA
CROWNE PLAZA
KYOTO



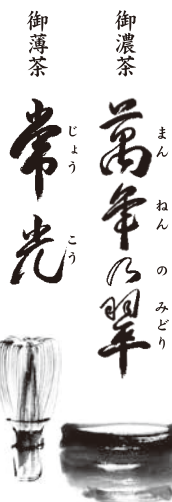
世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。

ANAクラウンプラザホテル京都

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkyoto.com

抹茶

有馬頼底管長御好



全国並びに関西茶品評会第一位
自園茶農林水産大臣賞31回受賞

大本山相国寺御用達

宇治 久小山園

京都府宇治市小倉町寺内八六番地
お問い合わせ(0774)20・0909
●西洞院店 茶房「元庵」 水曜休祝営業
●京都市中京区西洞院通御池下ル
電話(075)223・0909
●ジェイアール京都伊勢丹店地下一階
●京都高島屋店地下一階和菓子売場
【お取り扱い】全国有名茶店・茶道具店
www.marukyu-koyamaen.co.jp

御法衣・御袈裟・御水引・戸帳・打敷

華蔓・御晋山式用品一式・稚児装束

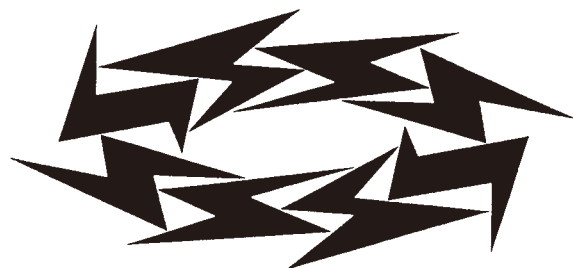
大本山 相国寺御用達

橘兵 草木兵助商店

〒604-0024 京都市中京区衣ノ棚通御池上ル西側
電話 (075) 221-0934 振替京都 01090-4-3476

文化を守り、未来へつなぐ

電気設備工事・消防設備工事



足立電気工業

Adachi Electric Industries

〒601-8045 京都市南区東九条西明田町 34-21

TEL 075-681-4461
FAX 075-681-9767

HP www.adachidenki.co.jp
E-mail office@adachidenki.co.jp

大本山相国寺御用達・大涅槃図保存修理

文化財保存修理・文化財デジタル複製・文化財 IPM 調査・文化財調査
一般表具・絵画企画製作・漆/金箔施工工事・襖紙/御殿引き手発売元

京表具 浩悦庵

古文化財保存修理研究所 (有) 矢口浩悦庵



本社・工房

〒602-8025 京都市上京区衣棚通り丸太町上る今薬屋町 318 番地

TEL(075)254-6021 (代) /FAX(075)254-6022

www.koetsuan.com 東京営業所 Tel(042)442-0177

相国寺東京別院施工



誠心誠意 美しく正しい仕事を



株式
会社

水澤工務店

東京都江東区木場5丁目6番地1号
TEL 03-3641-7111
URL www.mizusawa-inc.co.jp



皆さまのお役に立てる、
コインパーキング。

着実に、一步一步。

キョウテク株式会社

本社

TEL **075-365-8000** FAX **075-365-8080**

〒600-8172 京都市下京区下平野町483番地1

DNP



重要文化財「洛中洛外図屏風」/林原美術館
DNP独自の技術により精緻な再現性と耐久性を両立させた、文化財複製です。

歴史を未来につなぐ技術。

私たちは、これまで培ってきた印刷技術と情報技術を生かし、
かけがえのない文化遺産の保存と継承に貢献しています。



未来のあたりまえをつくる。

大日本印刷株式会社

相国寺御用達 北山金閣寺御用達 東山銀閣寺御用達



URL <http://matsuishuzo.com>



享保十一年創業 清酒 「五紋神蔵」 醸造元

松井酒造株式会社

京都市左京区吉田河原町1の6

電話 075 (771) 0246

MIZUHO

お客さまから最も信頼される、 そして選ばれる証券会社へ

私たちは、〈みずほ〉が目指す、
「総合金融コンサルティンググループ」の唯一の総合証券会社として、
金融に関する高い専門性や質の高い商品力に磨きをかけることで、
お客さまに最良のサービスを提供できるよう、
全力で取り組んでまいります。

みずほ証券

京都支店 TEL.075-231-8881

〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20 みずほ銀行京都支店2階

建物の総合管理(警備・清掃・設備・植栽)

抗菌・抗ウイルスの効果が持続する薬剤

KYOH PARA Alivio

販売をいたしております。

SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)を対象とした
反応検査で不活性化を確認できました。

都総合管理株式会社

京都市上京区堀川通中立売上ル福大明神町119番地の1
TEL:075-415-0001 FAX:075-415-1155



人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中大道具館(兵庫県神戸市)
設計施工: 竹中工務店

株式会社 竹中工務店



京都人さえもが恋するホテル。

BRIGHTON
KYOTO

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売(御所西)
TEL.075-441-4411(代) FAX.075-431-2360
<https://kyoto.brightonhotels.co.jp/>

● 編集後記 ●

◇「新年おめでとうございます」という新春の祝語を交わしていた昨年元日の午後に、能登半島を中心に大変大きな地震が発生し、また9月のお彼岸には大雨による土砂災害が同地を再び襲いました。他にも長期間に及ぶ酷暑日は、大変身体に堪えるものであったため記憶に新しいところです。改めて、被災された方々へお見舞い申し上げます。

◇いずれ発生すると言われる「南海トラフ巨大地震」をはじめ、わが国では多くの災害と隣り合わせであります。それらへの備え、防災・減災対策について再び考えさせられたのは、去る10月下旬に開催した「相国寺派寺庭婦人研修会」での講演です。講師には昨年元日の地震で被災され、避難生活をされている石川県珠洲市の臨済宗国泰寺派のご住職をお招きしましたが、実体験に基づく当日の様子や避難所の状況、その後の生活、被災した檀信徒とお寺の関わり、心のケアなどについて話を伺うことが出来ました。

◇私たちは古来より数多くの天災を経験し、その都度祈りをささげてまいりました。その祈りは仏心の中で生まれ、仏心の中に生き、ひとときも離れることはないものです。祈りとは「一心に念ずること」であり、それが私たちにとって本来持ち合わせている「真心」「智慧」でありましょう。

◇相国会会員の皆様とは、10月21日の「開山忌法要」において第4教区、第6教区様と、また第2教区、第5教区の皆様とは団体拝観でお参りいただき、それぞれお目にかかる機会がございました。本年もお待ち申し上げております。

◇また冒頭に有馬管長からいただいた御挨拶にもありましたが、承天閣美術館開館40周年事業は昨年の愛知に引き続き本年も継続され、東京と札幌でも『相国寺展』が開催されます。より多くの皆さまに相国寺の歴史や伝来する宝物に触れていただく機会になると存じます。

◇本誌第123号も、挨拶文、円明法話、各原稿記事、写真、広告などを御寄稿いただいた皆様の協力により無事発刊することが出来ました。已年の平穏と相国会会員の皆様、本派各寺院、また関係各位の安寧を祈念いたします。本年もよろしくお願い申し上げます。(江上正道 記)

えん みょう
円明

令和7年(2025)正月号(第123号)
令和7年(2025)1月1日発行(年2回)

編集/相国寺派事務本所 教学部

発行所/大本山相国寺・相国会本部

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町701 TEL075-231-0301 FAX075-212-3591
URL <https://www.shokoku-ji.jp> E-mail kyogaku@shokoku-ji.jp (教学部)

制作・印刷/ヨシダ印刷株式会社 カット/BUN



『円明』誌は、環境にやさしい「水なし印刷」「Non-VOCインキ」で印刷しています。

禅のことをもっと……



あなたが信仰されている臨済宗・黄檗宗の教理や歴史について、もっと知りたくありませんか？ 禅文化研究所では入門書から専門書まで幅広く発行いたしております。

おすすめ本のご紹介



新 坐禅のすずめ
定価 1,320 円



維摩経
ファンタジー
定価 1,430 円



臨済宗檀信徒経典
定価 715～880 円
(数量によって価格変更あり)



季刊『禅文化』
年間購読料
5,280 円

書店やネットでも購入できます。価格はいずれも税込みです。

お申し込み、お問い合わせは下記まで

公益財団法人 禅文化研究所

TEL 075-811-5189

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1 花園大学内
メール: sales@zenbunka.or.jp

FAX 075-811-1432



第59回「京の冬の旅」

非公開文化財特別公開

「秘められた京の美をたずねて」

「世界遺産登録30周年」
「洛陽三十三所観音霊場再興20周年」
「古都京都の文化財」が世界遺産に登録されてから30周年を迎えるのを記念して、世界遺産寺院の通常非公開の文化財を特別公開。また再興20周年を迎える「洛陽三十三所観音霊場」の寺院にもスポットをあて、普段は見学できない庭園、仏像、襖絵、建築など様々な文化財が期間限定で特別公開されます。

公開期間 2025年1月10日(金)～3月18日(火)

鹿苑寺(金閣寺)は、2月8日(土)～3月18日(火)の公開

慈照寺(銀閣寺)は、2月8日(土)～3月16日(日)の公開

・期間・時間・料金等の詳細は各公開箇所欄をご覧ください。
・法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。
・最新情報は京都観光Naviホームページ「京の冬の旅」でご確認下さい。

公開時間 10:00～16:30 (16:00受付終了)

料金 1ヶ所 800円(一部団体割引あり)

❖お問い合わせ「京の冬の旅」コールセンター

TEL 075-585-5181

(2024年11月中旬～2025年3月18日までの9:00～17:00 12月29日～1月3日休)
主催…各公開寺院・京都市・公益社団法人京都市観光協会(DMO KYOTO)
後援…公益財団法人京都市文化観光資源保護財団

ろくおんじ きんかくじ ほうじょう
鹿苑寺(金閣寺)方丈

2月8日(土)～3月18日(火)の公開。

「京の冬の旅」20年ぶりの公開



鹿苑寺 蔵 (柴田明蘭 撮影)

「金閣寺の本堂を飾る障壁画と寺宝特別展示」

じしやうじ きんかくじ
慈照寺(銀閣寺)

WEB予約優先制

2月8日(土)～3月16日(日)の公開。

*別途通常拝観料5000円要

ほんどう
本堂・弄清亭

●本堂「京の冬の旅」26年ぶりの公開
●弄清亭「京の冬の旅」初公開



提供：慈照寺

「銀閣寺の本堂と義政公好みの御香座敷」

10:00～の部から15:30～の部まで

1日6回設定 各所要約30分

(各回定員21名程度・受付は各回15分前から開始・完全入替制)

*小学生未満のお客様は拝観を ご遠慮頂く場合があります

【ご案内開始時間】

▶10:00～ ▶11:00～
▶12:00～ ▶13:30～
▶14:30～ ▶15:30～

鹿苑寺(金閣寺) 慈照寺(銀閣寺)
以外に13か所が公開されます。

※一部公開期間・時間・料金等が異なります。

「予約制」の箇所もありますのでご注意ください。

建仁寺 西来院

清水寺 随求堂

頂法寺 (六角堂)

平等寺 (因幡堂)

地藏院 (椿寺)

龍安寺 仏殿・西の庭

仁和寺 経蔵・五重塔

東本願寺 宮御殿・桜下亭

東寺 五重塔

醍醐寺 三寶院

【WEB予約優先制】

天龍寺 祥雲閣・甘雨亭

【WEBからの完全予約制】

僧侶がご案内する特別拝観

東本願寺 諸殿

西本願寺 書院・経蔵

特別公開

題字 京都古文化保存協会 理事長 杉谷義純

2025年3月2日(日)から9日(日)までの8日間
 大本山相国寺において**法堂**、**方丈**、**浴室**
 ならびに**光源院**の特別公開を開催します。

京都古文化保存協会の相国寺特別公開は
 平成14年以来23年ぶり、光源院は初開催となります。
 この機会にぜひともお参りくださいませ。

■拝観時間 午前10時～午後4時

■拝観料 大人 1,000円

中高生 500円

(団体割引、障がい者割引あり)

※法要等により期間や時間の変更と

なる場合があります。

※最新の情報は協会ホームページを
 ご確認ください。



浴室



光源院

主催・お問い合わせ先

公益財団法人 京都古文化保存協会

電話番号：075-451-3313

Mail goiken@kobunka.com

URL <http://kobunka.com>



相国寺 春の特別拝観

2025年3月23日(日)～6月1日(日) 拝観時間：午前10時～午後4時

※4月8日(火)は法要・行事のため拝観時間に一部変更があります。

拝観場所：法堂・方丈・開山堂

拝観料：大人1,000円／小中高生500円

※法要・行事のため予告なく拝観休止または拝観場所・拝観時間を変更することがあります。

開山堂庭園



法堂内「蟠龍図」





搬送訓練の様子



心肺蘇生訓練の様子



慈照寺自衛消防訓練について

慈照寺では、自衛消防隊の消防訓練を実施いたしました。例年は九月に放水銃を使用した消火訓練を中心に実施していましたが、今回は左京消防署にご指導をお願いし、①初期消火の場面で職員が使用する可能性が高い消火器の扱い方、②山林に隣接し斜面が多い境内を想定した傷病者の搬送方法、③AED（自動体外式除細動器）の使用方法和心肺蘇生法の三点の講習と訓練を行いました。九月中旬の夕刻の空は静かに夕焼けが迫り始めていましたので、まずは水消火器による消火訓練を行いました。カラーコーンを火点に見立て三〇五mの射程距離の風上から火元を狙うことの指導の下実際に噴射を行いました。

搬送方法の講習では、倒れた人をそのままソフトタイプの担架から布担架へ移乗する方法や進行方向が足、頭を下げないことなどを学びました。

最後に、場所を研修道場「西指庵」に移し、AEDの使用方法和心肺蘇生法の講習を受けました。人形を用いた胸骨圧迫法による心肺蘇生訓練では、肘を伸ばし思っていた以上に力強く押すことが必要で、一分間に約百回のテンポで中断せず三十回行う基本動作を学びました。また救命の現場で実際に必要となる一一九番通報役や、AEDの手配役など、周囲の人に協力を求めることも学びました。AEDを起動した際のリアルで無機質な音声ガイダンスは一気に緊張感を高め、参加した職員は真剣な表情でしっかりと訓練に取り組んでいました。

京都市消防局では一一九番通報から救急車到着まで約七分と言われています。一次救命処置（心肺蘇生とAED）は、その正しい知識さえ知っていれば身近な人の命を救うことができます。今回の講習と訓練で学んだことをいざというときに生かせるようさらに技術を磨いて参りたいと思います。



消火訓練の様子



方丈庭公開



本尊公開



ご本尊特別公開・方丈南庭開放について

鹿苑寺では、令和六年九月一七日から一九日の三日間、本堂である方丈の南側のお庭を開放し、ご本尊である聖観世音菩薩の特別公開を行いました。一般の参拝順路よりご本尊にお参りいただくのは、今回が初めての試みとなります。

ご本尊の左右には開山の夢窓国師像、開基の足利義満像が祀られており、脇侍の梵天・帝釈天と合わせてお参り頂きました。

今回開放しました方丈南庭は、室町時代に活躍した相阿弥による作庭と伝えられており、庭石にはそれぞれ、女龍石、布袋石、相馬石、蟠龍石、露盤石などの銘がついた石が配され

ております。また、後水尾上皇のお手植えであると伝わる侘助椿も南庭の東側に植えられております。

期間中は朝から多くの参拝者の皆様に立ち寄っていただき、三日間を通して、予想を超えるたくさんの方々が参りくださいました。日本の方だけではなく、数多くの国の方々が、手を合わせてそれぞれの思いを込めて拜んでいらっしゃいました。

この度の特別公開は、参拝者の皆様に鹿苑寺がお寺であることを改めて認識していただける良い機会になったのではと思っております。また、折を見て公開できればと考えております。

【禅寺の茶の湯】展

Ⅱ期 令和6年11月17日(日)～令和7年2月2日(日)
(年末年始休館 令和6年12月27日(金)～)

令和7年1月5日(日)

茶の湯の世界は、禅と深い関係があります。そのため、相国寺とその塔頭の什物にも茶の湯にまつわる作品が多く伝来しています。仏教行事の中では本尊に茶を供え、書院などで参列者に茶がふるまわれます。また、江戸時代には寺院の中に茶室が詠えられ、そこで茶会が催されました。このように、禅僧の暮らしの中に茶の湯が息づいていました。茶会記に載る什物や、茶道具の名品を「禅寺の茶の湯」を通してご覧ください。



黄瀬戸大根文輪花鉦鉢



国宝 玳瑁散花文天目茶碗

記念講演会



記念講演会

令和6年10月12日に「禅寺の茶の湯」展を記念し神奈川県立金沢文庫 学芸員 貫井裕恵氏を招き講演会を開催いたしました。「茶の湯」成立前史―喫茶と仏教儀礼」と題し、相国寺創建以前の鎌倉の茶について語っていただきました。
同じく、12月21日に「禅寺の茶の湯」展Ⅱ期を記念し茶道総合資料館 副館長 伊住禮次郎氏を招き講演会を開催いたしました。「茶の湯における禅」と題し、茶人としての立場から、熱く語っていただきました。

関連イベント予告

講座 「仏教儀礼の茶と茶室の茶会」 当館学芸員 本多潤子
日時 令和7年1月11日(土)14時～ 当館2階講堂
参加料 無料(当日の拝観券が必要)

【畠中光享 日本画展 清浄光明を描く】



畠中光享「禅定達磨」

インドの仏伝(釈尊の伝記および思想)をはじめ仏教を題材に創作活動を行っている日本画家です。一九七四年のインド初訪問から約一〇〇回の渡印を重ね、インドのミニアチュール(細密画)や染織品の研究と収集を続ける傍ら、常に日本画の新たな可能性を追求しています。仏教の本質に迫ろうと制作を続ける畠中氏の新作を含め優品をご紹介します。

Ⅰ期 令和7年3月8日(土)～4月20日(日)
Ⅱ期 同 年4月23日(水)～6月22日(日)



畠中光享「成道聖地陽拝」(襖7面の内4面)
東本願寺蔵

次期展観予定



特別御朱印【宗旦稲荷】

【オリジナル御朱印】

「禅寺の茶の湯」会期中、数量限定で、『宗旦稲荷』を特別に授与しております。

「ミュージアムショップ」

「2025年 当館オリジナル新商品お知らせ」

○注染手拭い二種類「鳳凰図・竹虎図」…「注染」とは伝統工芸に指定された染色方法であり、裏表なく染め、色合いの美しさ、風合いの良さが特徴でございます。

竹虎図



Size :
37×90cm

鳳凰図



Size :
37×90cm

○白檀角割5g「牡丹猫図」…^{そらだき}空薫やお焼香、茶道の風炉の時期にご使用ください。(数量限定)



白檀角割5g「牡丹猫図」

○茶扇子三種類「五寸十五間 薔薇文鳥図・中鶏左右梅図、六寸十五間 竹虎図」…茶道用の京扇子として使いますが、インテリアとして広げて飾って楽しむこともできます。(数量限定)



薔薇文鳥図



中鶏左右梅図



竹虎図

Legacy of Zen Temples.
Shokoku-ji, Kinkaku-ji
and Ginkaku-ji, Kyoto

雪舟から応挙、若冲へ

受け継がれる名品
そこに物語があった

2025
3月29日(土)
5月25日(日)

相国寺 金閣・銀閣 しょうこくじ 鳳凰がみつめた美の歴史 展

相国寺水天閣美術館開館40周年記念

東京藝術大学
大学美術館
東京都台東区上野公園12-8
The University of Art Museum,
Gendai University of the Arts

上野公園文化財文庫(絵巻物)展
元禄時代(17世紀)展
展示期間 3月29日(土)～5月25日(日)
下伊藤若冲(竹虎図) (部分)
雪舟(雪舟) 竹虎図(部分)
若冲(若冲) 竹虎図(部分)

南蛮芋頭水指

箱書橋州周倅

一口 十六世紀 慈照寺蔵

鎖国下の江戸時代、相国寺僧達は海外で製作された茶道具も手に入れていました。この水指もその一つです。作品名にある「南蛮」焼とは、中国南部から東南アジアで焼かれたものを指します。この水指は薄い黄釉が全体に掛けられ、内は波形にたたき跡が現れている点が特徴となっています。さらに「芋頭」とは里芋の塊茎のこと、水指の形が似ていることに由来します。

水指を納める箱には、墨書があり、慈照寺十五世橋州周倅が万延元年（一八六〇）に、対馬の以酩庵に滞在している時に得たことが記されています。朝鮮修文職として安政五年（一八五八）から万延元年まで対馬厳原の以酩庵の住職として滞在していました。この箱書により帰京の年の二月に求め、六月に持ち帰ったことがわかります。橋州周倅は他にも、対馬に着任した年である安政五年に、対馬の立龜窯に注文製作した水指（對州御本一重口水指 箱書橋州周倅 慈照寺蔵）なども持ち帰っています。

江戸時代、京都の五山僧の中から江戸幕府に朝鮮修文職に任ぜられた禅僧は、約二年の任期で対馬の以酩庵に輪番で赴任し、対朝鮮外交の一端を担っていました。その赴任先の以酩庵の地図には、四畳半の茶室があり、その道具は輪番僧を輩出する京都の五山で拠出し、赤黒楽焼濃茶碗、薄茶碗などを、京都から持って行っていたようです。このように、茶の湯の饗応が対馬でも行われていたことがうかがえます。そして任期が終わって京都に

戻る際は、様々なお土産を持ち帰っていました。その中には、本作品のような海外で製作されたお茶道具もあったのです。

江戸時代の相国寺僧の活動の一端が覗える、興味深い逸品です。



南蛮芋頭水指 慈照寺蔵



南蛮芋頭水指箱書

第四十一回 相国寺派寺庭婦人研修会

令和六年十月二十四日～二十五日

(詳細は本山だより41ページを参照)



開講式で諷経する一同



講演を聴く一同



有馬管長ご垂訓

撮影◎教学部



愛知県美術館「相国寺展」観覧

とわ
永遠の安らぎ —石のカウンセラー—

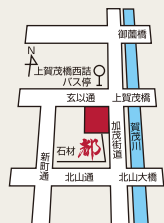
株式会社 石 杖 都 みやこ



相国寺供養墓



社長 吉田 健次



正月以外無休 営業時間／AM 8:30～PM 6:00 (日曜日PM 5:00まで)

本 社：〒603-8103 京都市北区小山北玄以町 24 番地 ヨクソ ヨイシ
(上賀茂橋西詰バス停前) 電話(075)491-4114(代)

工 場：京都市北区上賀茂神山 389 番 24 ヨクソ ヨイシ
(洛北病院バス停前) 電話(075)702-2440

御一報次第、遠近を問わず参上いたします。



心のすがた

光陰可惜 時不待人

『五灯会元』

「光陰惜しむべし」

時人を待たず」

月日、時間は瞬く間に過ぎ
去っていき、人を待っては
くれない。無常である。
時間を無駄にせず、この
巡り合わせの中でこの時に
感謝をして大切に生きる。

十月二十日夕刻 撮影◎教学部